

# 下水道

## 水洗化で快適な暮らし 早めの接続にご協力を



下水道の効果を十分に発揮するためには皆さんの下水道への早期接続が欠かせません  
(排水設備工事の様相・田の浜地区)

海や河川などの水質保全に重要な役割を果たす下水道。しかしその効果を十分に発揮するためには、皆さんの下水道への接続が欠かせません。現在、大浦、船越、田の浜、大沢地区のほぼ全域で下水道が利用されていますが、大浦地区を除いた三地区は、接続率が50%未満と低い状況です。下水道の役割を理解していただき、早期接続にご協力をお願いします。

町では、生産活動の場である海や河川などの水質保全への基盤づくりを最優先課題として、下水道整備に取り組んでいます。平成十六年度で大沢地区の下水道整備が終わり、大浦地区に次ぐ整備完了となりました。現在では船越・田の浜地区の整備を進めており、山田地区も今年から下水道本管の布設工事に入るなど、本格的な下水道整備に取り掛かります。

町では、トイレが水洗化され、より快適に汚れた水が側溝や水路に流れ出ないため、衛生的な環境に……。海に優しく、快適な生活環境をつくり出してくれたいです。現在、下水道が利用できる地区は大浦、船越、田の浜、大沢地区のほぼ全域です。各地区の下水道への接続状況(三月三十一日現在)を見てみると、大浦地区が最も高く九三・四%となっています。順に船越地区三八・〇%、田の浜地区三五・六%となっています。大浦地区を除いた三地区は、接続率が五〇%にも達していない状況です。

### ◆供用開始年度および接続率 (3月31日現在)

区分地区	供用開始年度	接続対象世帯数	接続済世帯数	接続率(%)
大浦	平成2年度	286	283	99.0
大沢	平成12年度	687	298	43.4
船越	平成12年度	705	268	38.0
田の浜	平成13年度	634	226	35.6



トイレの水洗化により衛生的で快適な生活を

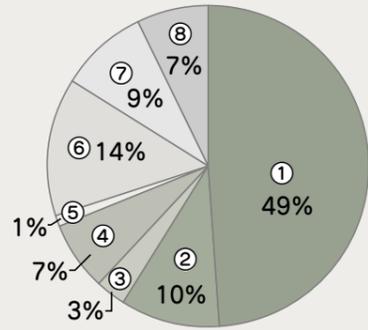
### アンケート調査を実施

一部供用開始から三年、四年が経過し、下水道への接続率が伸び悩んでいる現状を踏まえ、町では昨年八月に、下水道整備地区に当たる大浦、田の浜、船越、大沢地区の二千四百五十五世帯を対象にアンケート調査を実施しました。回答をいただいたのは、全体の約六五%に当たる千三百八十六世帯でした。

主な質問項目は「下水道接続による環境の変化」「下水道に接続していない理由」です。

### ◆アンケート調査

#### ◆下水道への接続をしていない主な理由



項目	回答件数
① 資金調達のためがたないため	335
② 高齢者世帯であるため	69
③ 建物が移転、改築期であるため	23
④ 借地、借家であるため	49
⑤ 公共工事などの施工予定があるため	6
⑥ 家屋の老朽化	95
⑦ 下水道料金の負担が生じるため	64
⑧ その他	51
計	692

「周辺の側溝や水路の浄化」で。汲み取り式から水洗トイレに改造したことで、蚊やハエの発生が少なくなり、衛生的に思われたという感想も寄せられました。また、下水道に接続していない理由について

### ◆利子補給補助制度の概要

◆対象工事 トイレの水洗化工事、排水設備工事

◆融資あっせん条件 ▶町税などを滞納していない▶連帯保証人がいる▶家屋の新築(建築確認を伴う増改築を含む)による排水設備などの工事でない▶個人が所有する一般住宅である——などの要件が必要になります。

※融資条件を満たしていても、融資を受けられない場合があります。

◆融資機関 岩手銀行山田支店、北日本銀行山田支店、宮古信用金庫山田支店、岩手県信用漁業協同組合連合会(大沢支店、船越湾支店)、岩手宮古農業協同組合山田支店

◆融資限度額 90万円

◆償還方法 5年(60回払い)の元金均等月賦償還

町では、下水道に接続するための排水設備工事を行う方の負担を軽減しようと、融資のあっせんと利子補給補助制度(左表参照)を設けています。

### 融資は供用開始後7年

これは、利子補給の対象となる地区は、供用開始から五年以内に行う排水設備工事としていました。しかし、下水道への接続率が伸び悩んでいることや、厳しい経済状況下での工事費の負担などを踏まえ、期間をさらに二年間延長し、供用開始後七年以内の工事を対象として五月から制度を改めました。融資限度額は九十万円、返済は五年間、元金のみの均等月払いとなっています。下水道接続工事をお考えの際はどうぞご利用ください。供用開始年度は、同一地区内でもそれぞれ違いますので、詳しくは役場地域整備課へお気軽にご相談ください。

◆問い合わせ 役場地域整備課 下水道業務担当(☎82-3111内線212)へどうぞ。